

# 消化器内科

## 1. 診療科の概要

消化器内科では、消化器病（消化管・肝胆膵）を専門として内科全般のマネジメントができる医師の育成を目標としています。また、基礎研究との結びつきが強いのも特徴であり、日々の臨床で生じた疑問を基礎研究の手法を用いて研究することで、患者さんによりよい治療を提供できるよう心がけています。

臨床分野では、上下部消化管内視鏡や特殊内視鏡を用いた内視鏡診断・治療、血管造影及び IVR (interventional radiology) を応用した様々な治療を行っています。また、当科は炎症性腸疾患 (IBD) の分野では難病分野別拠点病院の指定を頂いており、さらに遠隔診療にも取り組んでおり、北海道内における IBD 診療はもちろん、専門医育成・コメディカル教育においても中心的な役割を担っています。

## 2. 臨床研修指導医

指導責任者（科長）：仲瀬 裕志

指導医：佐々木 茂、山野 泰穂、吉井 新二、阿久津 典之、室田 文子、石上 敬介、柁木 喜晴、川上 裕次郎、沼田 泰尚、平山 大輔、我妻 康平、林 優希、風間 友江、横山 佳浩

## 3. 研修担当者

氏名：沼田 泰尚

連絡先：numata@tb4.so-net.ne.jp

## 4. 研修初日の集合時刻と集合場所

研修開始前日までに上記研修担当者へ e-mail で確認すること

## 5. 到達目標

- ・ 外来または病棟において、下記の症候を呈する患者について、病歴、身体所見、簡単な検査所見に基づく臨床推論と、病態を考慮した初期対応ができる。  
＜ショック、体重減少・るい瘦、発疹、黄疸、発熱、吐血、下血・血便、嘔気・嘔吐、腹痛、便通異常（下痢・便秘）、腰・背部痛、終末期の症候＞
- ・ 外来または病棟において、下記の疾病・病態を有する患者の診療にあたることができる。  
＜高血圧、急性胃腸炎、胃癌、消化性潰瘍、肝炎・肝硬変、胆石症、大腸癌、糖尿病、脂質異常症＞
- ・ 系統的なプレゼンテーションを行い、質疑応答に参加することができる。
- ・ 医療チームの一員として、他職種の考えを理解して積極的・能動的に参加することができる。
- ・ 患者および家族への適切な声掛けや配慮をしながら、基本的な診療内容を説明できる。
- ・ Clinical question に対する EBM を検索し、実症例に適応できる。

## 6. 研修内容

各種検査法、内科の主要疾患、病態について研修する。

### (1) 回診とカンファレンス

- ・ 新患合同カンファレンスおよび総回診を週 1 回行う。
- ・ 消化管、肝胆膵、化学療法のカンファレンスをそれぞれ週 1 回ずつ行う。
- ・ 消化管、肝胆膵グループにおいて外科・腫瘍内科・放射線科とのカンサーボードを週 1 回行う。

### (2) 研究会

- ・ 週 1 回、入院症例や臨床研究・基礎研究の内容に関する勉強会を行う。
- ・ 週 1 回、英文トップジャーナルの文献を題材とする抄読会を行う。
- ・ 月 2 回、スタッフが最近のトピックスに関する論文を用いてミニレクチャーを行う。
- ・ 月 1 回、他院勤務の医師も参加する内視鏡読影の研究会を主催している。
- ・ 年 1～2 回程度、シミュレーターや豚の胃を使った内視鏡トレーニングを行う。

## 7. 研修医の主な業務

- ・ 研修医は消化管チームもしくは肝胆膵チームに所属し、指導医のもとで主治医として診療方針の決定や各種検査へ積極的に参加する。
- ・ カンファレンス等では主治医としてプレゼンテーションを行う。
- ・ 豊富な経験を持つ複数の指導医が在籍するため、研修医一人で問題を抱え込むことなく実際の診療に当たることができる。

## 8. 研修スケジュール

	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
月		回診	上下部内視鏡検査 胆膵内視鏡検査				上下部内視鏡検査 病棟					勉強会 <sup>†</sup>
火		チャートカンファレンス 総回診			IBD カンファ		病棟/透視下内視鏡検査 胆膵内視鏡検査				消化管CB* <sup>†</sup>	
水		抄読会 <sup>†</sup> (隔週)	化学療法 カンファ	上下部内視鏡検査 病棟			上下部内視鏡検査 病棟					
木			回診	病棟			遠隔診療	病棟/ 透視下内視鏡検査				
		カンファ		血管造影検査			胆膵内視鏡検査				肝胆膵CB* <sup>†</sup>	
金		抄読会 <sup>†</sup>	カンファ	上下部内視鏡検査			上下部内視鏡検査					
			回診	血管造影検査			病棟					

\* CB : Cancer Board    † 参加は任意です。担当症例の提示がある場合はCBへの参加をお勧めします。

## 9. 初期臨床研修時の症例を活用できる専門医資格

- ・ 内科専門医

## 10. 研修協力施設

- ・ たすきがけ研修病院（協力型臨床研修病院）  
JR 札幌病院、天使病院、札幌徳洲会病院、済生会小樽病院、小樽市立病院、市立室蘭総合病院、函館五稜郭病院、北海道立江差病院、広域紋別病院、帯広協会病院、市立釧路総合病院、市立根室病院
- ・ 短期研修可能な施設（臨床研修協力施設）  
時計台記念病院、あかびら市立病院